※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　言語文化」　（第一学習社）						
副教材等	九訂版　体系古典文法　（数研出版） 三訂版　古典文法マスタードリル１　用言・助動詞　（数研出版） つながる・まとまる古文単語 500PULS　（桐原書店） 必携新明説漢文　（尚文出版） 新訂版　最新国語便覧　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「言語文化」は言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とした科目です。１年生では古典における「語彙」「文法の基礎知識の定着」と「その活用力」をしっかりと身に付けてください。
・基礎を身に付けないままでは学力は絶対に伸びませんので、心して学習すること。また、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を的確に捉え、我が国の言語文化についての理解を深めましょう。
・予習・復習を必ず行い、授業中はよく聞き、よく議論し、頭を働かせて下さい。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・古典の文章に慣れるとともに、歴史的仮名遣いや動詞の活用を理解する。 ［教材］ 宇治拾遺物語 　児のそら寝 解釈の視点①古典の言葉	a:歴史的仮名遣いや動詞の活用などの文語のきまりを理解するとともに、語彙を豊かにしている。 b:[読]説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 c:積極的に説話を読み味わい、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出
	・随筆という文章の種類を踏まえて、作者の批判的精神が提示する内容や展開を的確に捉える。 ［教材］ 徒然草 　をりふしの移り変はるこそ 解釈の視点②係り結び 探究　季節を感じる	a:用言や助動詞など、文語の決まりを理解するとともに、語彙を豊かにしている。 b:作[読]作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 c: 本文中に表れた作者の批判・教訓などを積極的に読み取ろうとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出
	・歌物語の特徴と読み解き方を理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ［教材］ 伊勢物語 　芥川 　筒井筒	a:用言や助動詞などの文語の決まりや和歌の修辞法を理解し、語彙を豊かにしている。 b:[読]歌物語に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 b:[書]様々な資料や他の章段、『源氏物語』の紹介と、古典の世界の恋愛と結婚が現代と異なることを整理することができる。	小テスト 定期考査	定期考査 発問評価 課題の提出	授業態度 課題の提出

※令和４年度以降入学生用

	解釈の視点③和歌の修辞 解釈の視点④助詞の働き 言語文化の窓①恋愛と結婚 源氏物語への招待	c:他者の意見を踏まえながら解釈を深め歌物語に積極的に親しもうとしている。			
	・文章を読んで、風刺、寓話としての表現を理解する。 ［教材］ 良識派	a:文章を読んで、この小説を人間社会の風刺としてとらえた場合、何を表そうとしたものか理解している。 b: [読]様々な観点から、社会の状況を内容を理解することができる。 c:作品の中の風刺を踏まえて考察を深め、自分の考えをもとうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出
前期期末	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 ［教材］ 私たちと漢文 訓読のきまり①返り点の種類と用法 解釈の視点①漢文の基本構造 蛇足(戦国策) 訓読のきまり②再読文字の種類と用法	a:漢文を訓読するための基礎知識として、返り点、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得している。 a:故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b:[読]日常的に使う故事成語や格言の意味や歴史的・文化的背景を理解している。 b:[書]故事成語の由来と意味を調べレポートを作成している。 c:漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけ、話の内容や展開を的確にとらえようとしている。	小テスト 指名音読 定期考査	定期考査 発問評価 課題の提出	授業態度 課題の提出
	・我が国最初の日記文学の表現方法と随筆意図を読み解く。 ・作品に表れている批評や諧謔の面白さを味わ	a:助動詞や助詞について文語のきまりを理解し、語彙を豊かにしている。 b:[読]女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を	小テスト 定期考査	定期考査	

※令和４年度以降入学生用

	う。 ［教材］ 土佐日記 門出 解釈の視点⑥助動詞の働きと見分け方 言語文化の窓③月はカレンダー付の時計？	踏まえて、内容を解釈している。 c:虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に理解しようとしている。		発問評価	授業態度 課題の提出
後期中間	・漢文の訓読に慣れるとともに、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ［教材］ 臥薪嘗胆（十八史略） 言語文化の窓①漢文から生まれた言葉	a:訓読のきまりを理解し訓読に慣れるとともに、漢字の読みや意味、句法等を理解している。 b:[読]歴史的背景を知るとともに、論理の巧みさを読み解き、内容や展開を的確に捉えている。 c: 積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を理解しようとしている。	小テスト 指名音読 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出
	・和歌の表現技法とその効果について理解し、各歌集の特色を正しくとらえる。 ・和歌にうたわれた情景や心情など、内容や展開を的確にとらえる。 ［教材］ 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 解釈の視点③和歌の修辞	a:文語の決まりを理解し、和歌の表現の技法とその効果について理解している。 b:[読]各歌集の和歌の特色を捉え、情景や心情など、内容や展開を的確に捉えている。 b:[書]和歌を現代語の和歌に作り変えることができる。 c:和歌の修辞技法を進んで理解し、作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取ろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 発問評価 課題の提出	授業態度 課題の提出
	・短歌や俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、	a:短歌や俳句の表現の技法とその効果について理解し、近代を代表する歌人や俳人の作品を味わっている。 b:[読]作品に表れているもの	小テスト 定期考査	定期考査 発問評価 課題の提出	授業態度 課題の提出

※令和４年度以降入学生用

	内容を解釈する。 ［教材］ 短歌　十五首 俳句　十二句	の見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 b:[書]俳句を作ることができる。 c:作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。			
後期期末	・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 唐詩の世界 解釈の視点②漢詩の形式と表現 言語文化の窓②杜甫と安史の乱	a:漢詩のきまりや表現・技法を理解している。 b:[読]作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 c:漢詩が詠まれた情景や心情をより深く理解しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出
	・『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 論語 訓読のきまり③主な助字の種類と用法	a:訓読のきまりを理解している。 b: [読]『論語』の内容や展開を理解し、ものの見方や考え方を捉えることができる。 c:『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを深く考察しようとしている。	小テスト 指名音読 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出
	・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 枕草子 九月ばかり 雪のいと高う降りたるを	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 a:文語文法の定着を図り、敬語表現も理解している。 b: [読]作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 c: 自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えようと	小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出

※令和４年度以降入学生用

		している。			
	・文章を読んで、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。	a:文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて理解している。 b: [読]自分の気持ちを理解することで、自分の思いや考えを広めることができる。 c:人間の生死に関して、作品中の「自分」の考えを踏まえて考察を深め、自分の考えをもとうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業態度 課題の提出
	文学と人生 城崎にて				

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間